



KUMAMOTO GREEN

The Weekly Bulletin

Rotary-Club



世界へのプレゼントになろう

2015-2016年度
テーマ

- 国際ロータリー 「世界へのプレゼントになろう」
- 地区方針 「ロータリーの活動を通して、新たな気づきを、そして自己の成長へつなげよう」
- 熊本グリーンR.C. 「ロータリーの可能性に挑む」

R.I. 会長 K.R. "ラビ" ラビンドラン
R.I. 2720 地区 ガバナー 野田 三郎
熊本グリーンR.C. 会長 大友 利行

■例会日：毎週月曜日 18:30~19:30
■例会場：熊本市中央区城東町4-2 熊本ホテルキャッスル
TEL096-326-3311

■創立：平成元年2月22日 ■会長：大友 利行 ■幹事：荒木 一之 ■会報担当：長野 義文
■事務所：熊本市中央区城東町4-2 熊本ホテルキャッスル内
TEL096-354-4521 FAX096-354-4053 E-mail:kgro@serc2720.org

国際ロータリー 第2720地区 **熊本グリーンロータリークラブ週報**

【2015年12月14日】

第1199回
2015-2016年度 第19回
【例会】

1. 開会・点鐘 18:30
2. 食事と交歓



「我等の生業」(ロータリーソング)

来訪者紹介 (大友 利行 会長)

なし

友情の握手

会長スピーチ (大友 利行 会長)

先週12日には、第三グループのI. M. が催されました。荒木幹事、十時会員、河島会員、中島(三)会員と共に出席致しました。徳野貞雄熊大名誉教授の講演が印象的でした。さて、今日は一神教と日本の「やおよぶの神々」の話です。神という名前は同じですが、その意味するところは全く異なった考え方、観念です。キリスト教の神ゴッドは、超越的で見えないものと考えられています。人間を造った創造主です。だから人間は造られたもの、自分で作ったものなので、壊すことも捨てることも出来ます。作った者の支配が及ぶことは所有物だからです。我々が自分で作ったものを支配出来ると考えるように、ゴッドは人間を支配出来ると考えられているわけです。

それに対して、日本の神は人間よりはちょっと偉いかもしれないが、人間と仲間だと考えられています。友達か親戚か、だから仲良くする、仲良くするには1人きりより多い方がいい。多くの神様がいる方がいい。ロータリーの仲間みたいに自分を支えてくれるネットワークがある。これが日本人が生きてゆく社会の基本です。だから宗教も神道のような考え方になります。日本人の考える神様の本質は自然現象、太陽、月、山、川、海、森どれも人格化してとらえる。奈良時代や平安時代に中国から受け入れた、仏教の現象を超えたところにある「さとり」も、現象世界に引きずり下ろしてとらえる。

キリスト教徒の欧米の人達と、日本人との間にはこれほどの違いがあることが宗教からいえると思われれます。

幹事報告 (荒木 一之 幹事)

■ 報告事項(その他のロータリー関係)

①「地区大会」開催のご案内

スケジュール：「本会議」

(登録料：8,000円)

3月26日(土) 10:10~16:50

(於：市民会館崇城大学ホール)

「R.I. 会長代理歓迎晩餐会並びに希望交流会」(登録料10,000円)

3月26日(土) 18:00~10:00

(於：ホテル日航熊本)

卓話
予定

- 12/21 「年忘れ家族会」(例会中に「年次総会」あり)(於：キャッスル 11F)
- 12/28 例会取り止め 定款第6条第1節に基づき
- 1/6(水) 「熊本市域17R.C.合同新春合同例会」(1/4(月)→1/6(水)に例会変更)
- 1/11 祝日(成人の日)の為、例会取り止め

【熊本グリーンR.C.ホームページアドレス】 <http://www.kg-rc.com/>

グリーン・クラブの例会日がきても、出席するかどうか決めるには及ばせん。というのは、私にとって出席は決まりきった事だからです。これは、ロータリーに入会したとき受入れた義務の一つです。

★例年「地区大会」は2日間に亘り開催されてきましたが、今年度は熊本開催で1日で終了します。ホストも熊本南RCで野田三郎ガバナー主催ですので、多数のご登録をお願い致します。

■ 例会変更
 <変更>

【熊本城東RC】

1月4日(月)の例会は、新春合同例会のため、1月6日(水)12:30より、ホテルニューオータニ熊本にて行います。

【熊本グリーンRC】

1月4日(月)の例会は、新春合同例会のため、1月6日(水)12:30より、ホテルニューオータニ熊本にて行います。

【熊本南RC】

1月4日(月)の例会は、新春合同例会のため、1月6日(水)12:30より、ホテルニューオータニ熊本にて行います。

【熊本東RC】

1月5日(火)の例会は、新春合同例会のため、1月6日(水)12:30より、ホテルニューオータニ熊本にて行います。

【熊本西RC】

1月5日(火)の例会は、新春合同例会のため、1月6日(水)12:30より、ホテルニューオータニ熊本にて行います。

【熊本'05福祉RC】

1月5日(火)の例会は、新春合同例会のため、1月6日(水)12:30より、ホテルニューオータニ熊本にて行います。

【熊本北RC】

1月7日(木)の例会は、新春合同例会のため、1月6日(水)12:30より、ホテルニューオータニ熊本にて行います。

【熊本西南RC】

1月7日(木)の例会は、新春合同例会のため、1月6日(水)12:30より、ホテルニューオータニ熊本にて行います。

【熊本RC】

1月8日(金)の例会は、新春合同例会のため、1月6日(水)12:30より、ホテルニューオータニ熊本にて行います。

【熊本中央RC】

1月8日(金)の例会は、新春合同例会のため、1月6日(水)12:30より、ホテルニューオータニ熊本にて行います。

出席報告

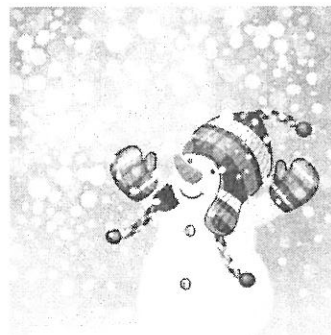
葉 高源クラブ管理運営委員(出席担当長)

	会員総数	22名	出席率
12月14日	出席免除会員数	2名	65.00%
	計算上会員数	20名	
	出席会員数	13名	
11月30日	前回の出席会員数	12名	65.00%
	メイクアップ数	1名	
	修正出席会員数	13名	
メイクアップ済み会員及びメイクアップ訪問先			
・11/25 熊本グリーンローターアクト 大友君			

スマイル

(クラブ管理運営委員 上田 観一会員)

- 大友 利行 君、荒木 一之 君
- 「本日の本田会員の卓話に感謝しスマイルします。心から楽しみにしています。」
- 伊津野良治 君
- 「2週続けて例会出席を「ちょうせん」しています。次回よりカウントして頑張ります。」
- 本田 悟士 君
- 「先週は失礼しました。妻の誕生祝いありがとうございました。お礼をかねてスマイルします。」
- 上田 観一 君、福島 和見 君、栗山 義則 君
- 河島 一夫 君、長野 義文 君、田中 純司 君、葉 高源 君、
- 「本日の本田悟士弁護士の卓話を楽しみにしていました。宜しくお願い致します。」



3. 例会プログラム

卓話者: 本田 悟士クラブ広報委員長

「ロータリーの友について」



4. 閉会・点鐘

Rotary International 会員増強詳細報告

クラブと地区をサポートする新しいプログラム

先月から導入された入会候補者情報プログラムは、ロータリーへの入会を希望する人の情報をクラブ役員や地区リーダーにお知らせする画期的なシステムです。会員増強のツールとしてぜひお役立てください。詳しくはウェブサイトからご覧ください。

新会員の方々には、ロータリーが提供するさまざまな資料をご紹介します。日本事務局資料室から注文できる新会員のための歓迎キット、年次報告、ロータリー財団に関する資料をはじめ、クラブ情報や会員名を入れてカスタマイズできる会員証明書やIDをダウンロードするブランドリソースセンターなどです。

1月には、新しい会員増強のための評価ツール(旧:クラブ評価ツール)がご利用いただけます。My ROTARYからダウンロードいただくか、日本事務局資料室よりご注文ください。

2016年のご健康とご多幸を、RI会員増強担当部よりお祈り申し上げます

年の瀬は、今年クラブが達成したことや課題を振り返り、新しい年の目標を考えるのにふさわしい時期です。2016年の皆さまのロータリーにおける抱負は何ですか。以下に、クラブによる活動のアイデアをご紹介します。

- ・新会員や会員候補者向けの特別行事を開催する
- ・地域社会のニーズを見つけ、それに応える奉仕プロジェクトを立案する
- ・クラブ例会で、優れた活動を実施した会員を表彰する
- ・新しい、趣向をこらした活動を実施する。クラブの仲間との親睦を深める時間を設ける。
- ・ロータリー グローバルリワードから利用できる割引を利用して、クラブの奉仕活動に役立てる

皆さんのロータリーの抱負を、ウェブサイトのフォーラムからお知らせください。



ポリオワクチンのはなし

不活化ワクチンを導入し、経口生ワクチンを漸次中止

ロータリーと世界ポリオ撲滅推進活動（GPEI）は、ポリオ撲滅最終戦略計画における重要な節目を迎えようとしています。2015年末までに、全世界の定期予防接種システムの一環として、少なくとも1回の不活化ポリオワクチン投与が開始されます。

これは、全世界で野生型ポリオウイルスの感染が阻止された後に、生ポリオワクチンの使用を漸次中止していくための第一歩です。

ロータリーは、20年以上にわたり率先して予防接種キャンペーンを実施し、子どもに経口生ワクチンを投与してきました。今回のワクチンの切り替えについて、会員や地域社会の人びとから質問されることもあるでしょう。

以下は、ワクチンについて私たちが知っておくべき事柄です：

6月初旬、インドでの定期予防接種で使う不活化ワクチン購入費として、ロータリー財団が500万ドルの予算を承認しました。

ごくまれなケースとして、生ワクチンに含まれている弱毒化ウイルスは、変異して免疫の弱い人に感染する可能性があります。不活化されたウイルスによる不活化ワクチンの使用で、ワクチン由来の発症リスクをなくすこととなります。

「経口生ワクチンを現在も使用するのには、撲滅を達成できるのがこのワクチンしかないからです」と、GPEIのパートナー、世界保健機関（WHO）のオリバー・ローゼンバウアーさんは言います。「不活化ワクチンも生ワクチンも接種した人をウイルスから守りますが、人から人への感染を阻止できるのは生ワクチンだけです。この点が、ポリオ撲滅において極めて重要なのです。不活化ワクチンの場合、接種した本人は安全ですが、ほかの人に感染させてしまう危険があります。ですから、ポリオが撲滅するまで生ワクチンは必要ですが、撲滅後には使用を中止しなければ、ワクチン由来によるポリオ発症はなくなりません」。1999年に2型の野生型ポリオウイルスが撲滅されて以来、2型ウイルスによる全発症は、ワクチン由来によるものです（ワクチン由来による感染の90%が2型ウイルスによる）。

もう一つのステップは、定期予防接種において3価生ワクチン（1、2、3型ウイルス用）から2価生ワクチン（1、3型ウイルス用）へと切り替えることです。今年4月から、この切り替えに向けた準備が全世界で行われています。

生ワクチンと不活化ワクチンは、世界ポリオ撲滅活動の歴史において、違う役割を担いながら互いを補ってきました。不活化ワクチンの導入、3価から2価生ワクチンへの切り替え、生ワクチンの漸次廃止。これらはすべて、ポリオを永遠に世界からなくすための極めて重要なステップなのです。

ポリオ撲滅活動に関する最新情報は、endpolio.orgをご覧ください。推進用資料もダウンロードしてご利用いただけます。



ナイジェリアで不活化ワクチンによるポリオ予防接種を受ける子ども。野生型ポリオウイルス常在国における定期予防接種で不活化ワクチンが使用されるのは初めてとなります。